

## 第24回 南大菩薩滝子山 1,590m

第1支部 (株) 乾 商 会  
理 事 乾 洋 介  
平成 17 年 10 月 30 日 曇り

中央線の笹子駅に近づくと車窓の右側に大きくそしてピラミダルな山が見えてくる。はるか北にある大菩薩嶺から南に一直線に延びている山脈の最南端が滝子山だ。知る人ぞ知る紅葉のきれいな山で、この季節になるとハイカーの訪れも多い。

今回のメンバーは磯部さん、若林さん、小川さん、原奥様、と私の5人となった。いわずと知れた“花より団子”ではなくて“モミジより焼酎”のパーティーだ。

登山道は沢浴いに開かれており、山裾をぐるっと回り込むのでなかなか山頂に近づかない。約1名が遅れだし、ダダをこねだすが無視をする。少し待って本人が追いつくとすぐに皆歩き出す。これが実に辛いのだ。そんなこんなで騙したり、おだてたり、励ましたり、からかったりしながらやっと山頂に着いた。

短めの休憩をとり写真を撮ったらすぐに出発。途中の檜平という気持ちの良い場所で恒例のお茶にした。紅葉は少し遅れ気味で色づきもいまひとつだったが、ところどころには鮮やかな赤と黄色の秋の景色が広がっていた。約1名の人も次第にペースが上がってきて追いつくようになってきた。予定よりも早く下山駅の初狩駅に到着した。歩き出してから6時間の行程だった。

うまい具合に高尾行きの列車が来たので飛び乗る。初狩駅周辺は打ち上げをする適当な店も無いので、本日は八王子で食事会とした。ここからが本日のハイライト。乗ってまもなく車内放送で中央線が人身事故の影響でダイヤが乱れているとのこと。途中駅でさんざんまたされて、1時間近く遅れて八王子駅に着いた。この間ビールも飲めず、イライラのしどろしどであった。電車ではなく山の噴火口にでも飛び込んでもらいたいものだとつくづく思った。確実だし、電車も遅れない。

まあそんなこんなで無事に店にたどり着き、原ご主人と若林奥様も合流し、いつもの楽しい慰労会となった。I氏が店にデジカメを忘れてきてしまったが、翌日若林さんが取りに行ってくれて無事に本人に返った。これで3回目である。

そんなことを書く私も帰りに寝過ごしてしまい千葉まで行ってしまった。ハイキングも体に良いとは言い切れない一日だった。